



くぼたつ

久保田達也(くぼた・たつや): 冒険家、NAPU大学名誉人文学博士、ラシュモア大学教授、工学院専門学校インターネット科特別講師、日経新聞ビジネスセミナー常任講師。

くぼたつが行く～企画マン日記 受講生に喝っ！でも、虚虚実実が企画？

7月11日: 仕事をサボって上野のバイク用品街にオフロードバイク用品を買い揃えに出かけた。インターネット検索で三日三晩「あーでもない、こーでもない」と商品さんざん吟味したが、らちがあかず、店に直接出向いたのが正解だった。バイク好きでキャリア豊富な店員のアドバイスに舌を巻き、納得もして13万円の自分へのご褒美となった。やはり人による現場での解説が最高なのだ。



7月12日: インプレスTVの森編集長来社。「このほど円満退社で、某N・A社へ転職……」とのこと。この業界にはよくある人材移動だ。新しいことをやりたい意思が企画である。新しいことを新しい環境でやるか？ いまいる古巣でやるか？ 時代とか年齢とかと相談することになるが、結局のところマジにそれを実現したいかどうかにかかっている。

7月31日: インターネット協会の評議委員に任命され、初回の挨拶原稿を書いた。「インターネット環境の普及後には発想力が問われる」という趣旨にした。

7月13日: Y社のエクゼクティブと会食。「社内のネット化を自分がやるという頑固者がいて難儀している。やつは感覚はネットワーク社会のものとしてしているんだよね。しかたないからしばらくやらせて失敗を経験させてから始めるとするよ」経営を企てるためには人に経験させて気づかせていくことも必要のようだ。

8月1日～2日: 富士通にて講演。こともあろうに、8月2日は日本電気にて講演。それぞれの会社のいいところをほめるために、頭の切り替えが大変だった。

7月17日: オフィス移転を計画中なので物件を見に行く。しかし、なぜこうも日本は不動産という「箱」ごときがバカ高いのだ？ オフィスはかっこいいに越したことはないが、それよりインフラ回線や、人が集う立地環境を重視して行きたいと考える。いまや企画マンの戦場はネット世界にあるのだから。

8月4日: KSP研究会にて講演。受講生のうわつついたインターネットビジネス思考に喝っ！とはいうものの内心は「ボクもなかなかそうはいかないんだよね……」トホホ” 虚虚実実が企画

7月18～22日: 北海道にて講義。北海道に据え置き用として買った中古バイク(SEROW)にまたがり、仲間とツーリング。日高山脈中心に原生林が数十キロ続くダートコースを600キロほど駆った。歩きでも車でも入ることができないバイクだけの冒険がそこにはある。鹿やキタキツネの世界に分け入ることで充電される。

8月16日: 明日から俺だけの夏休み。4日間かけて北海道から東北経由にあるあらゆる林道を走る旅に出る。本日、その準備に余念がない。やはり俺はアウトドアな人なのか。しかも何をトチ狂ったか、バイクを1か月間で3台も買ってしまった。我ながら「バカだなあ……」と1日ボヤいている。忙しくて山登りに行く時間が取れないので出張講演などの際に、スーツとパソコンは宅配して、バイクに釣りやキャンプ用具を積んでアウトドアしながら旅路を楽しむことにした。パソコンの代わりにPDAにてウェブから当社グループウェアとメールを使う。地図とGPSも併用することにした。走行ルートをナビゲーション設定しておく、現在地や目的地の方向と距離がわかるのだ。登録に緯度経度の数字を打ち込むとなぜか血が騒ぐ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp